

農業学園第4回講座「農作業安全と農業機械メンテナンス研修」を開催しました

令和7年10月28日（火）、農業学園第4回講座「農作業安全と農業機械メンテナンス研修」を行方地域農業改良普及センターと合同で開催しました。研修は、ヤンマーアグリソリューションセンター関東(以下ヤンマー)で行い、農業学園生7名が参加しました。

研修では、始めに、ヤンマーの施設のうち、トラクターなどの農業機械の展示や、実際に点検作業を行っている現場を見学しました。

座学では、農業は他産業と比較すると事故が多く、その中でもトラクターの事故が全体の4分の1を占めていると説明がありました。事故を防ぐためには一人一人が安全に対する意識を変えなければならないこと、ヒヤリハットを共有することが大切だと学びました。また、動画による学習では、シートベルトや安全フレームにより実際に事故の被害が軽減されており、装着することの重要性を再確認することができました。

ヤンマーでは、海外製のトラクターの輸入販売を行っていることから、「海外製と国内製の性能の違いや向いている品目について」や「点検作業がどれくらいの期間で、どのように行われるかについて」などの質問や、「今後はより一層安全に農作業を行いたい」などの声が聞かれ、受講生にとって有意義な講座となりました。

普及センターでは、今後も農業学園の講座を通して、若手農業者の経営発展を支援していきます。

銚田地域農業改良普及センター（担い手）



座学の様子



作業機械の説明の様子